

## ■ PPP/PFI手法導入検討(公表様式)

作成日:令和 8 年 3 月 23 日

事業担当課	教育部 生涯学習スポーツ課	
事業名称	武蔵野市営プール更新	
事業概要	事業の目的	施設の老朽化及び社会的ニーズの変化といった現在の課題を解消しつつ、さらなる市民のスポーツ推進を図るため、誰もが利用しやすいプールの充実を図る
	事業の内容	武蔵野市営プールを更新する
	事業の目標	性別・年齢・障害の有無を問わず、誰もが快適かつ安全安心に、年間を通して利用できるプール、また、観るスポーツ・障害者スポーツの促進・エリア一体の良好な街づくり・災害時への円滑な対応が可能な施設とする
PPP/PFI手法導入検討の結果	導入の方針 (検討結果)	<input type="checkbox"/> PPP/PFI手法の導入検討を継続する (「詳細な検討」の実施または民間事業者の公募に向けた準備を行う) <input checked="" type="checkbox"/> PPP/PFI手法を導入しないこととする
	上記の理由	DB方式及びリース方式を対象に民間事業者へサウンディングを行った結果、今回の整備計画の前提条件および供用開始時期の制約の下では、民間事業者による積極的な参画意向は確認できなかったため。 【サウンディングでの主な意見】 DB方式:市が示すスケジュールの時期は建築業界も人手不足のピークとなると思われる。 リース方式:運用を見越した設計ができない。建築物を貸すだけのリース方式では利益が見込めない。